

# 令和4年度 津山市 地域幸福度（Well-being）について

客観指標（国が各種オープンデータから作成）

偏差値が高い因子

介護・福祉、空気・騒音・清潔さ、住宅環境、自然災害、デジタル生活、地域とのつながり、文化・芸術

偏差値が低い因子

医療、買物・飲食、移動・交通、自然景観、公共空間、多様性

主観指標（津山市実施（R4.12）の住民アンケート結果）

偏差値が高い因子

自然の体感、つながりと感謝、地域内の社会関係資本、多世代共創、共同体に帰属、機会がある、食文化が豊か、街を感じる

偏差値が低い因子

満足度（地域の暮らしの満足度）

期間令和4年11月30日～令和12月23日

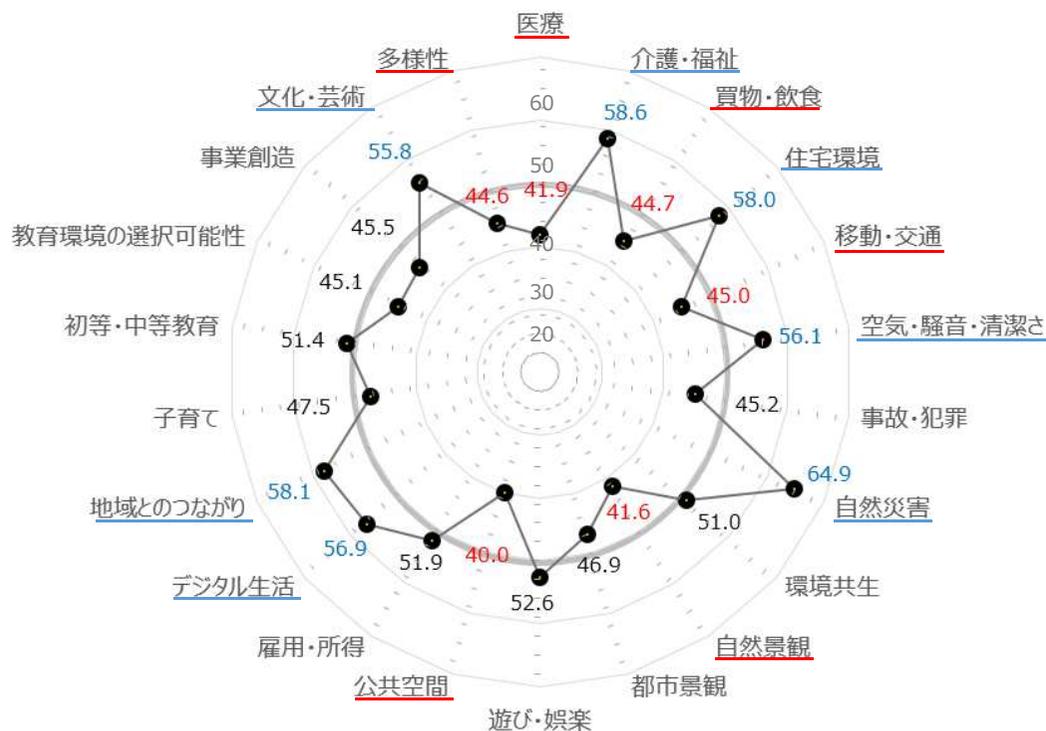
調査方法：郵送・電子申請

調査対象：市内在住の18歳以上の方2000人（無作為抽出）

回答：595件（郵送回答 521、電子回答 74）

偏差値50を基準とし、偏差値55以上を高（青色）、偏差値45以下を低（赤色）で記載しています。

## 客観指標グラフ



## 主観指標グラフ

